

商店街再生への選択
〈コンビニエンススマート〉
プロジェクト

平成29年9月

有限会社クオールエイド

1. 目的

- 地域経済の循環性の担い手である地場小売業者が形成する地域商店街の持続可能性を再構築する。
- コミュニティインフラとしての地域商店街を再生し、コミュニティの持続可能性の維持、構築に貢献する。
- もって都市・日本経済社会の持続可能性の維持・発展に貢献する

※商店街立地の地場小売・サービス業者の事業の持続可能性を再構築するもっとも実現性のあるプロジェクトである

2. 定 義

コンビニエンスストアとは:

- ・地域商店街に立地する〈コンビニエンスニーズ対応型業種・業態〉を組織して実現する、商店街の核となる〈商店街内に形成する商業集積〉
- ・スーパーマーケットを中心にデイリー・ニーズを標的とする小売業・サービス業による「店揃え・売り場揃え」として構築する

3. 事業機会

- スーパーチェーン、コンビニチェーンが作りだしている「買物不便」を解消して、コミュニティの住みやすさの維持・拡充に貢献する
- 「買物不便」とは
買物目的にとって「その都度手に入れる」ことが重要な意義を持つ商品・サービスが、提供する側の事情で不都合が起きている状態

4. テナントミックス

(1)核店舗：スーパーマーケット

(2)構成：各種食料品小売（青果・精肉・鮮魚・そうざい、パン、酒等）、花、時計・眼鏡・補聴器、衣料、家電、薬局、化粧品、雑貨、クリーニング、カフェ、食堂・カフェ・レストラン、マッサージ、理美容、エステ、リフォーム、学習塾等

(3)その他商店街既存業種の連帯で充実させる

5. 構築の方法

1. 構築に賛同する個店群の「売れる売り場づくり」の自助努力を組織的に推進し、集積の構成店舗にふさわしい業容に転換する。
2. 空地空店舗へのテナントリーシングによるテナントミックスの充実
3. 構築にあたっては当社が開発した商業理論—店づくり技術を全面的に活用する

6. 成功への条件

- (1)適切なコンセプトの設定とそれを導きとする参加店舗群の売り場づくりの一体的推進
- (2)取り組みを通じて参加者が日々進歩を実感出来る業績向上を実現すること
- (3)推進体制
 - ①全体を推進する組織の立ち上げ
 - ②内部:商店街、行政、関係団体の協働体制
 - ③外部:リテイルサポート 指導機関の協働体制※現地の状況により構成する
- (4)推進に必要な理論—技術の提供

7. 戦略課題

(1)核となるスーパーマーケットの充実

①コンビニエンスストア、大手スーパーとの競争に勝ち抜く
業容の確立

②商店街に不在の場合は空地・空店舗を利用して誘致する

(2)各参加店は、必要な支援を受けながらコンセプトを分担する
業容を実現する

(3)取り組みの全過程を通じて参加店の増収増益を実現する

8. 外部支援体制

(1)プロジェクトの推進を全面的にバックアップする指導
専門家の育成・確保

(2)リテイルサポートとの協働の組織化

①業種別・取引先別に取り組みられている企業のリテイルサポートとの協働を実現する

②類似目的の組織との協働

※ 成功条件は、取り組みやすく、実効性があり、参加者の自律的・持続的な取り組みが可能であること